



演劇
×
国際協力
!?



体験型セミナー：
占領状況下のストレス問題と
パレスチナの子どもへのドラマ手法を通じた心理ケア

開催日時

2013年2月23日（土）14:00～16:30

プログラム

- 14:00 開会
- 14:00 -14:10 冒頭挨拶
スティーブン・リーパー氏(公益財団法人広島平和文化センター理事長)
- 14:10 -14:40 冒頭講演
「子どもの発育とドラマ体験」
小笠原由季恵氏(NPO法人子どもコミュニティネットひろしま代表理事)
- 14:40 -14:50 パレスチナ状況説明・事業概略
- 14:50 -15:20 現地活動報告:逐次通訳あり
「アート・ドラマ・演劇を通じた心理ケア手法の魅力」
ムハンマド・イサ氏(パレスチナNGO「イエス・シアター」代表)
- 15:20 -15:30 質疑応答
- 15:30 -16:10 体験的ワーク
- 16:10 -16:30 意見共有・コメント
- 16:30 閉会

パレスチナの子どもが直面するストレス問題って何？
ドラマ手法を用いた心理ケアってどんなもの？
目からウロコのユニークで新しい国際協力のカタチがここに！

講師

小笠原由季恵氏 (NPO法人子どもコミュニティネットひろしま代表理事)

10代の子どもが幼児と遊びながら保育実習を体験する「10代の保育ボランティア養成講座」など子育て支援をより広い視点で捉えなおす活動を行う。一方で、広島市文化財団の演劇事業市民プロデューサーとして演劇・地域・教育(人材養成)に焦点をおいた活動を行い、中高生の演劇体験、夏休み演劇学校、DOCS(高校生・大学生を中心にした演技ワークショップ)にも携わる。2004年からは、英国の事例を用いたセミナーなど、演劇的手法を活用したドラマエデュケーションの企画を多数実施している。

ムハンマド・イサ氏 (パレスチナNGO「イエス・シアター」代表)

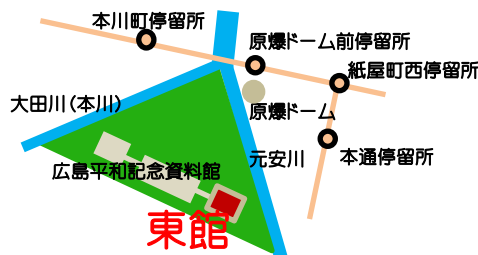
パレスチナ西岸地区ヘブロン在住。青少年をターゲットにした演劇団体イエス・シアターに立ち上げ初期から参加し、アドミニストレイティブ・マネージャーを務める。パレスチナでの各国NGO、国際機関の活動コンサルティングも行う。

開催場所

広島平和記念資料館東館地下1階会議室2

(〒730-0811 広島県広島市中区中島町1-2)

・広島電鉄「原爆ドーム前」停留所下車徒歩5分



参加費

500円 (資料代として)

*会場手続き上、事前申込み(お名前・ご所属のご連絡)にご協力ください。

お問い合わせ
お申込み

特定非営利活動法人 ピースビルダーズ

TEL: 082-247-0645 / e-mail: tokumitsu@peacebuilders.jp (担当: 徳光)

ホームページ: http://www.peacebuilders.jp/pal_index.html

特定非営利活動法人ピースビルダーズは、パレスチナ自治区ヘブロン県に現地事務所を設置し、日本人職員を常駐させ、現地NGOと連携しつつ学校教員に演劇を通じた心理ケア事業(「ヘブロン青少年の心理的ケアのための教育的市民社会ネットワーク拡充事業」<外務省NGO連携無償資金協力事業>)を実施し、現地の子ども・青少年への支援を行っています。本イベントでは、日本ではまだまだ馴染みのない演劇を通じた心理ケア手法の実践例を紹介し、ユニークで新しい国際協力の魅力をお伝えします。詳細は、当団体ホームページ(上記)をご参照下さい。

Peacebuilders